

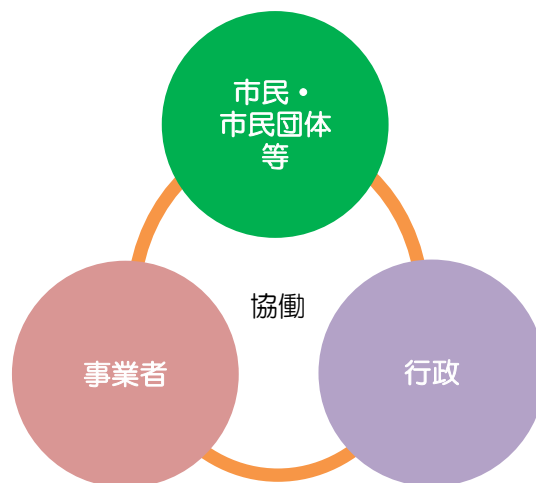
6 計画の推進に向けて

第1節 計画推進の方針

1. みどりのパートナーシップづくり

近年、社会経済情勢は大きく変化し、市民一人ひとりの価値観が多様化しています。従来、まちづくりは行政が主体的に対応してきましたが、複雑、多様化する市民ニーズや課題に対し、これまでのような行政主導のまちづくりでは、これらの課題などに十分応えることは難しくなっています。

このため、行政だけでなく、市民・市民団体、事業者等も含めたさまざまな主体が、それぞれの役割を担いながら、地域の特性に応じた魅力と活力のある地域づくりに協働で取り組んでいく必要があります。



1) 庁内の推進体制

市は、「泉南市みどりの基本計画」に基づいて、みどりの施策を進めるための実施体制を充実させるとともに、みどりに関わる各部署が連携しながら、施策の継続・拡充、新たな施策に取り組めます。

2) 市民や市民団体、事業者等とのパートナーシップ

市民や市民団体、事業者等の自主的な活動への支援を積極的に行っていくことで、みどりのまちづくりに関わる各主体がパートナーシップを築きやすい環境を整えていきます。

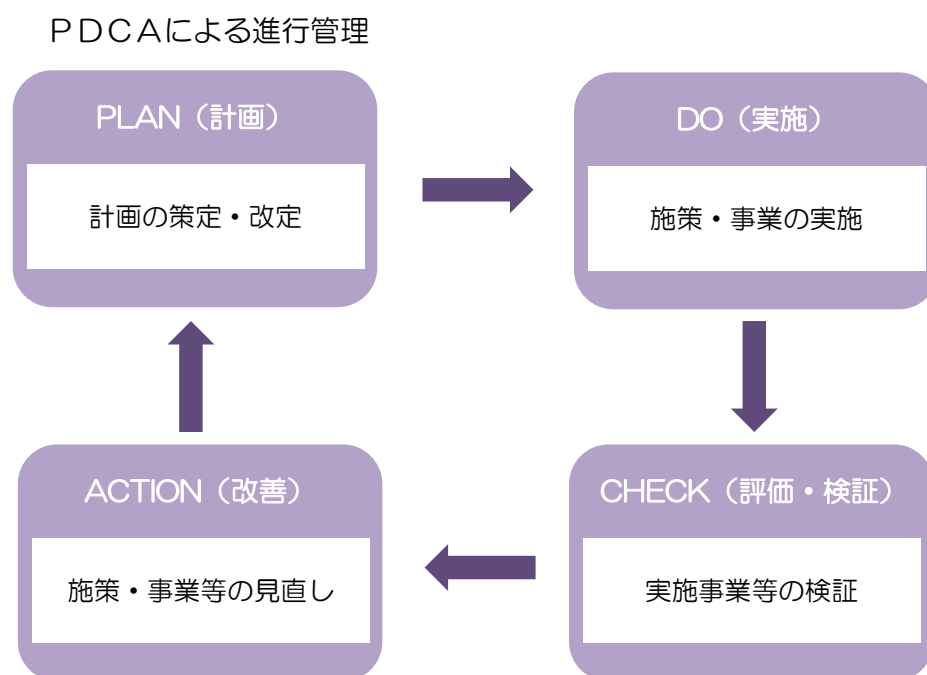
2. 関係機関との連携

国や大阪府、隣接する自治体等と相互に連携を図りながら、広域的なみどりのネットワークの形成に向けて各種施策に取り組めます。

第2節 進行管理の方針

1. 進行管理のサイクル

本計画が目指すみどりの将来像の実現に向けて、計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Action）のサイクルで進行管理を行います。



2. 進行管理の方法

本計画は目標年次を2029年とし、今後の社会情勢の変化や上位・関連計画と整合を図るため、概ね5年サイクルを基本として、進捗状況の評価や検証を行い、必要に応じて適宜見直しを検討します。

2019 年		2024 年		2029 年
● 計画の策定		● 計画の中間 評価・検証		● 計画の改定